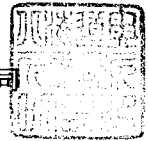


奥 産 管

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

奥尻町長 和田 良 司



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

日ごろ本町道路整備について何かとご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号にてご依頼ありましたこのことについて、別紙のとおり当町の意見を提出しますので、よろしく願いたします。

（産業建設課管理係）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道

奥尻町

・本町は、島であることから海上航路が唯一の人的、物流の動脈である。今後の道路整備については、住民の交通アクセス等はもちろんのこと国防に対する手段としても必要不可欠であると考えます。

特に本町は、北海道の西海域の境界線に接していることから国防（航空自衛隊のレーダーサイトが設置されている）の面からも重要な位置を占めていると考えております。

そのように考えた場合、多くの離島においては、国道は存在しないが本道と本島を結ぶ海上航路は、国道としてみなすべきであると考えます。「海の国道」

国道の維持管理費に要する経費相当分を航路維持として、航路事業者支援制度の創設

・自動車関連税は、離島の地理的条件から負担はあれども道路整備等の恩恵に浴していない。そうした現実から特に、揮発油税について、離島特例（沖縄県）と同等の課税扱いとすべき。

・道路が橋、海岸、山間部など各省庁に関わる道路整備の場合は、事業の効率化、進捗率向上を期するため、各省庁より一部負担金（個別で整備した場合の事業費相当分等）を拠出して、一括計上枠等制度創設などをもって道路整備をすべき。

・観光振興は、本町の重要な施策、町づくりの方向にある。観光地としての景観保持のためにも道路維持管理費は、増額するべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道

様式 ②

奥尻町

○現状

本町の道路事情は、海岸線を道々奥尻島線が走っており、中央部及び支線を町道が整備されているが狭隘な道路や急勾配な道路がある。

海岸線の道路については、平成５年の北海道南西沖地震及び平成１６年の台風１８号等の被害により、青苗地区を中心とした南部地区が孤立した経緯を踏まえ、現在は、赤石から松江間のバイパスの整備が進められている。

また、ほとんどの道路の背後は、急激な山間部になっているため、宮津から勘太浜区間等をはじめとする土砂崩壊防止工事が進められている。

○課題

本町の道路整備については、狭隘区間の解消等の道路整備を進めている現状にありますが、民家の密集地区や急勾配箇所の道路整備については、民家の移転箇所や費用対効果が課題にある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

北海道

奥尻町

本島には、島全体に集落が点在し、中央部の奥尻地区を中心とした北部地区と南部の青苗地区を中心とした南部地区に分区されている。また、中央部の頂上には、航空自衛隊のレーダーサイトが位置し、北海道西海域の国防を担っている。

このような中、本町の道路整備は、住民の病院への通院や学校への通学、さらには、フェリーや飛行場へのアクセス機能として必要不可欠なものである。

地域の道路の目指すべき将来像としては、過去の災害においての被害経験をもとに、北部と南部が寸断されない道路整備や冬期間でも安心・安全に走行できる道路であることはもちろんバリアフリーや歩道が設置されているなど、高齢者等の歩行にも安心な道路であること。また、島であるということから、フェリー航路も海の道路と考えた海上航路と道路を一体と考えた道路であること。

さらに、西海域に国境を面していることを考慮して国防機関へのアクセスを要した道路であること。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項

北海道

様式 ④
奥尻町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 離島での国道整備	・ 佐渡島や九州の一部離島	・ 国道を有しない離島町村においては、主要道々をそれに該当すべき。そのため、整備水準のあり方として、一定の幅員確保、未舗装区間の解消ができる。	